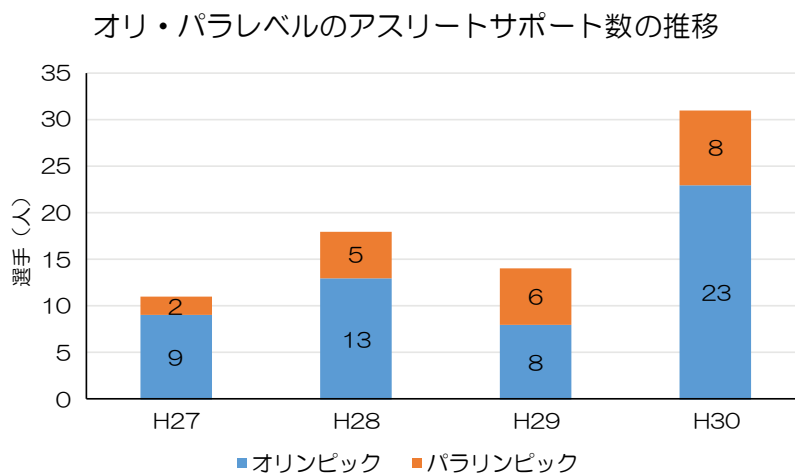


6. オリンピック・パラリンピックレベルのアスリートサポート数



| オリ・パラレベルのアスリートサポート数（人） | | | |
|------------------------|--------|---------|----|
| | オリンピック | パラリンピック | 全体 |
| H27 | 9 | 2 | 11 |
| H28 | 13 | 5 | 18 |
| H29 | 8 | 6 | 14 |
| H30 | 23 | 8 | 31 |

アスリート数はのべ数

オリンピック・パラリンピックレベルのアスリート利用者数は、本学の中期目標・中期計画において、数値目標を挙げており、平成32年度までに14人のサポートを目標として取り組んでいます。

平成27年度にスタートしたアスリートサポートは、その後順調にアスリート数が増加しました。平成30年度、前年度から倍増の31名のアスリートをお迎えすることができました。これは、やはり東京オリンピック・パラリンピックが間近に迫ってきたことから、国内外のアスリートに注目されたことによると考えられます。なかでもオリンピックの事前合宿地として鹿屋市、タイ王国の女子バレーボールチームは、スポーツパフォーマンス研究センターでのパフォーマンステストに深く興味を示していただきました。またパラリンピックの選手が増加したことも平成30年度の特徴でした。